

7年目に入りました。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

## U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

### 【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

ゴールデンウィークもあっという間に終わってしまいました。

楽しいGWを過ごされたことと存じます。私は、田舎に帰って畑仕事をしていました。

生憎の雨で思うように進みませんでした。ポットに種蒔きして発芽していたので畑に移植します。

およそ100坪と30坪の畑を耕し、畝を作って種蒔きなどをしたのですが、雑草との闘いが大変でした。30坪の畑にはさつまいもの苗植え、トウモロコシの種蒔き、じゃがいもの植え付けをしました。右の写真は植え付け直前です。

トウモロコシはカラス?に種を食べられたのか、まばらに芽が出ています。ジャガイモも芽が出ていて、これからの成長が楽しみです。ちなみに西宮の自宅では山の畑から移植したジャガイモが元気に育っています。こちらも楽しみです。

5月24日に、経営者のためのICTリテラシー講座を開催しました。募集定員の50名を超える60名の参加がありました。経営者の方の関心が高いことをあらためて感じました。今回は「最新の画像IoTと画像AIを学びましょう」というテーマで、コニカミノルタ様のFORXAI（高槻市にあるLAB）から講演とデモ環境の中継を実施しました。デモ環境の中継は初めての試みでしたが、展示スペースでの実演ですので臨場感があり解りやすかったです。この概要は、別途紹介します。

また、会員には無料でアーカイブで視聴できるように、今準備しています。経営者の方に役に立つ講座を、これからもどんどん提供していこうと考えています。

さて、各支部では理事会が始まり、電話対応コンクールの受付も開始しています。今年の全国大会は10月20日(金)に札幌市にて開催で、例年より1カ月ほど早いスケジュール調整等に苦労していますが、各支部事務局長とスタッフで頑張っています。

電話対応コンクールへのたくさんのご参加をお待ち申し上げております。

ご自身の対応スキルアップはもちろん、会社のCS向上のためにもぜひご参加をお願いします。

今月もU協近畿通心を愉しんでいただくと嬉しいです。



さつまいも65本植えました。  
これからどんどん成長して  
いきます。楽しみです。

### 【 ICT用語豆知識 「ユビキタスコンピューティング」ってご存じでしょうか 】

**ユビキタスコンピューティング**とは、**社会や生活のあらゆるところにコンピューターが存在する**という、情報環境を表す概念です。ユビキタス (ubiquitous) には、ラテン語で「偏在する」「至るところに存在する」という意味があります。

**ユビキタスコンピューティング**が浸透・実現する社会は「**ユビキタス社会**」といい、人々はコンピューターの所在を意識することなく、**いつでも、どこでも、誰でもコンピューターを利用することが可能**となります。

**ユビキタスコンピューティング**という概念は、1989年にアメリカXerox社のパロアルト研究所のマーク・ワイザー氏によって提唱されました。近年、IoT技術の発展やインターネットの普及にともない、ユビキタスコンピューティングの考え方が注目されています。

**ユビキタスコンピューティング**では、**あらゆるものにプロセッサや小型チップなどのコンピューターが組み込まれ、コンピューター同士が必要に応じて協調動作し、さまざまな処理が自動で行なわれる**ようになります。

ユビキタス社会が実現すれば、**ユーザーはコンピューターを意識せずに最適なサービスを受けることができ、高い利便性を得ることができる**といわれています。

そんな世界がすぐそこまできていますね。楽しみでもあります。

## 【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第104回「繰り返し繰り返し」（2022.11.15）をご紹介しました。

今回は第105回「一言が消えていく」（2022.12.15）をご紹介します。

日本語は、世界有数の豊かな言葉です。美しく花開く文化と自然の中で、漢字、仮名文字が織りなす表現の世界は、多彩で繊細で、時に力強さと情感にあふれたものでした。その価値ある日本語が、ここに来て力を失っていることへの危惧を覚えます。第103回でも、そのことに触れましたが、今回は消えていく一言の視点から考えます。

### 言葉が動作を守る

昭和から平成にかけて、消えていった美しい日本語がたくさんあります。「最近この言葉聞かなくなったね」「その言葉はもう死語だよ」皆さんもこうした会話をなさることがおありでしょう。

その度に、昔人間としては淋しい思いをします。消えていった言葉の例を挙げれば、傘傾（かしげ）、膝送り、目迎え、目送り、という言葉がつい昭和まではありました。でも若い人の多くは、初めて耳にする言葉でしょう。

雨の日に狭い道ですれ違う時には、お互いに傘を傾けて、雫が相手にかからないように気をつかうのです。また混んだ車内で、間隔を開けて座っている人に、「恐れ入ります。少しお膝送り（詰め合わせて）をお願いしたいのですが」と声をかけます。また、お客さまを迎える時や見送る時には、動作だけではなく、しっかり目でお迎えし目でお見送りするように、というマナーの一言です。このように、一つ一つの動作に、相手を思いやり、状況を慮（おもんぱかる）言葉がありました。若い人にこのような話をしても「時代が違いますよ」と一蹴されてしまうでしょう。でも、**動作が言葉を生み、言葉が動作を守っていく**のです。

そうは言っても、昭和、平成、令和と、言葉を生む社会状況が大きく変わりました。

これらの言葉が消えてゆくのはやむを得ないのかも知れませんが、以下に挙げる言葉は、営業や接客、電話対応などで、今も必要とされる言葉のほとんどです。にも拘わらず言葉が淘汰されたり疲弊していて、適切に機能していない場面が多いのです。

### 営業などの訪問時によく使う常套句

「貴重なお時間をいただきまして」「何分ぐらいお時間いただけますでしょうか」「お目通しいただけますと嬉しいです」「お出かけ前のお忙しいところをすみません」「差し出がましいことを申し上げます」「立ち上がったことをうかがいますが」「お食事時に失礼します」「お口汚しでしょうか」「お口に合わないかも知れませんが」「いただき立ちで失礼ですが」「お言葉に甘えてつい長居をしてしまいました」「お引き止めしてはかえってご迷惑でしょうか」「何のお役にも立てませんで」

### 電話でよく使う常套句

「突然のお電話で失礼いたします」、「夜分遅くに申し訳ございません」、「朝早いお時間に失礼とは思いましたが」、「おかつろぎのところを申し訳ございません」、「お手すきの時で結構ですので」、「ご説明が行き届きませんので」、「口幅ったいことを申しました。お許しください」、「お取り込みのところを申し訳ございません」、「はっきりおっしゃっていただきありがたかったです」、「大変勉強になりました」、「うかがったことを活かして精進いたします」。

これらの言葉は、皆さんが常日頃お使いの常套句の一部でしょう。常套句でありながら、適切に継承されず、使えない人が増えている言葉でもあるのです。

### 言葉に冷淡なICT社会

建築設計事務所で働く女性リーダーに聞いてみました。「常套句にそんなに拘らなくてもいいんじゃないですか。彼らなりにちゃんとお客さまとコミュニケーションをとって上手くやっていますから」とあっさりしたものでした。

電話と言えば、チャットやSNSでしか通話したことのない彼らにとって、敬語や前記の常套句を覚えることは、かなりハードルの高い努力となります。というよりはその必要を感じないでしょう。

30代半ばのリーダーからして、私どもが抱く言葉への拘りは、理解できないのかも知れませんが。

彼らの目標は、如何にしてIT競争に打ち勝つかにあるのでしょうか。

しかし、日本語の未来はそれでよいのでしょうか。経済も政治も教育も暮らしも、そして最先端の科学も、**人間の営みのすべては、言葉によって作られています。言葉が貧困になった時に、すべての土台は崩れます。人と人をつなぐのも言葉です。**

ICT社会は、その言葉に冷淡すぎます。前述の心を伝える常套句のすべてを失くした、用件だけを伝えるコミュニケーション社会を想像してみてください。

## 【ユーザ協会の得意技！日常的に使える デジタル防災対策ツール（1/2）】

前は「世界規模の課題にデジタル技術で立ち向かう（2022.12.15）」をご紹介しました。今回は「日常的に使える デジタル防災対策ツール」（2023. 2.14）をご紹介します。



災害の危険が迫っていることをリアルに実感することのできる、さまざまなツールが開発されています。リアルタイムの気象状況を地図上に表示したり、ハザードマップ情報を重ね合わせることで危険個所がピンポイントで分かるようになってきました。

デジタル×防災の中心的な役割を担っているのはスマートフォンで、現在は日常的に使うツールをいかに非常時に使うことができるかが課題となっています。そこで今回は、この防災対策ツールについて解説します。

### 防災アプリの浸透

「NTTドコモ モバイル社会研究所」の調査によると、いわゆる「防災アプリ」をスマートフォンにインストールしている人の割合は年々増加しているようです。2021年に約9千人を対象として実施された調査では、回答者の中でスマートフォンを保有している人（約8.5千人）のおよそ半数が一つ以上の防災アプリをインストールしていました。

年代別の傾向を見てみると、年齢が上がるにつれて防災アプリをインストールしている人の割合が高くなる結果が出たようです（図1参照）。

皆さんは、「防災アプリ」と聞いてピンとくるものがありますか？

「もう既に日常的に使っているよ。」という方もいらっしゃるかもしれません。

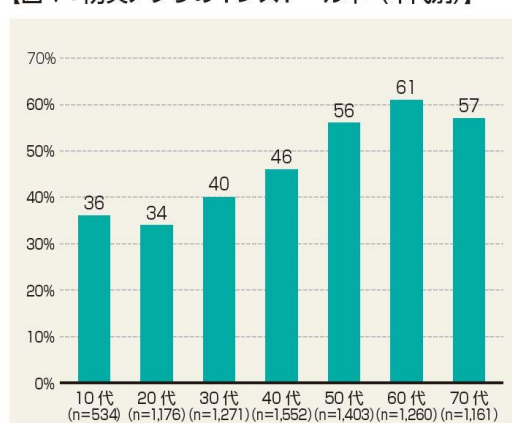
同調査によると、最も利用されている防災アプリは、「**Yahoo! 防災速報**」と「**NHKニュース・防災アプリ**」の二つでした。

### 防災アプリが災害の危険度を知らせる接点に

前回のコラムで、気象庁からの気象に関する特別警報の対象エリアと、私たちの携帯電話の基地局のエリアが一致した時に携帯電話に直接届くエリアメール・緊急速報メールの仕組みをご紹介しました。この仕組みは特に自分で登録しなくても、警報が自動で届くところが良い点であった一方で、警報の対象エリアが広く、必ずしも自分の居場所に近いところで災害の危険性が高まっているかどうか分からない、というのがデメリットでした。

気象や噴火などに関する特別警報の「**緊急速報メール**」の配信は、**2022年12月26日をもって終了**となりました。気象に関する特別警報は、大雨や洪水警報の危険度を可視化する気象庁のサービス「**キキクル**」と連携している事業者の防災アプリによって、プッシュ通知で受信可能です。プッシュ通知を受信するためには、**連携している事業者の防災アプリをダウンロードして、ご自身の居住地域を登録する必要があります。**

【図1：防災アプリのインストール率（年代別）】



出典：NTTドコモ モバイル社会研究所「2021年防災・減災調査」

2023年1月現在、キキクルと連携しているのは「**PREP＝総合防災アプリ**」「**特務機関NERV防災アプリ**」「**お天気JAPANアプリ**」「**Yahoo! JAPANアプリ**」「**お天気ナビゲータWEB（アプリではなくメールによる通知）**」とのことです。

なお、緊急地震速報と津波警報・津波警報については、従来通り「エリアメール」と「緊急速報メール」による配信が継続されます。

### リアルタイム災害状況の可視化

「キキクル」は、気象庁が提供している浸水と土砂災害の危険度を示した地図ツールです。ウェブサイト上でリアルタイムの危険度の分布図を確認することができます（図2参照）。

図で示されているのは、土砂災害の危険度です。

黒いエリアは既に災害が起こっていてもおかしくない地域（警戒レベル5）、紫のエリアは災害の危険度がかなり高まっている地域（警戒レベル4）です。

災害の危険度が色分けされ可視化されることで、ご自身のお住まいや現在いらっしゃる場所がどの程度危険にさらされているのか一目でわかります。

### 各自治体が出しているハザードマップの情報（土砂災害警戒区域）も地図上に重ねることができます。

ハザードマップについては、2015年の関東・東北豪雨に関して国土交通省が実施した調査があります。

同調査によると、ハザードマップの日ごろの活用状況について、回答者500人弱の約6割が「ハザードマップを見たことがない」、2割が「どこにしまっているかわからない」と回答し、1割の人しか「事前に浸水が想定されるエリアを把握している」と答えませんでした。

皆さんはいかがでしょうか？ ご自分の住んでいらっしゃる地域のハザードマップをご覧になったことはありますか？

ハザードマップの認知度を上げるために、国はさまざまな事業を展開しています。

例えば「**マイ・タイムライン**」という取り組みがあります。マイ・タイムラインは、災害への備えとして、ハザードマップを見ながら自宅から避難所までの距離、避難にかかる時間などを記入していくシートです。

町内会などが主体となって、日本のさまざまな地域でマイ・タイムラインを使った災害への備えに対する啓蒙活動が行われています。

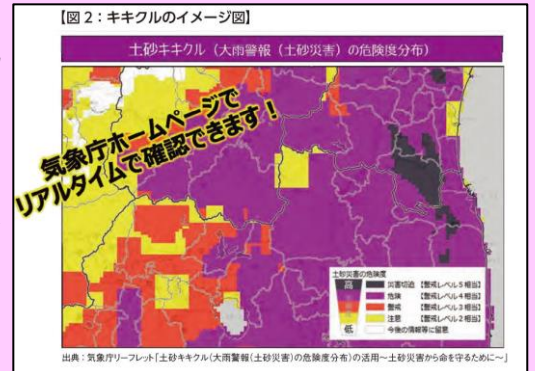
### 普段の生活の延長線上にある防災対策×デジタル活用

マイ・タイムラインのデジタル化も進められています。マイ・タイムラインをスマートフォンに登録すると、登録されたタイムラインの内容に基づいた避難などのプッシュ通知が送られてきます。ヤフーでは、オンライン上でマイ・タイムラインの作成ができる「防災タイムライン」をリリースしました。

これまで、全国の自治体で、住民の防災意識を高めるためのさまざまな取り組みが行われてきました。防災機能に特化した、いわゆる“防災のためだけの”アプリを各自治体で開発しても、ダウンロード数がなかなか伸びないという悩みを抱えていました。日本は災害大国ではありますが、日ごろ使い慣れていないツールはいざという時に使えないことも、この10年ほどで分かってきました。

冒頭ご紹介した「**Yahoo! 防災速報**」と「**NHKニュース・防災アプリ**」はいずれも日ごろ使っている頻度の高いニュースや天気情報を提供することで、平常時と災害時の機能のスムーズな連携が容易になっています。これから私たちの生活により一層浸透していくものと思います。

日常時と非常時を切り離さず一体のものとして捉えることは、**フェーズフリー**とされています。フェーズフリーについては次回ご紹介します。



## 【お役立ち情報：DXの基礎知識整理してみました。】

DXという単語をよくみるようになっていますが日本企業ではDXが進んでいないのが現状です。そこでICTセミナー 大前さんに「DX戦略の成功条件」を学ぼうを開催することにしました。今回も人気で、募集開始2週間余りで500名を超える方からお申込みがあります。定員の1,000名はすぐ超えそうです。今回は7月5日(水)のセミナー開催前にDXの基礎知識を再整理してみましょう。

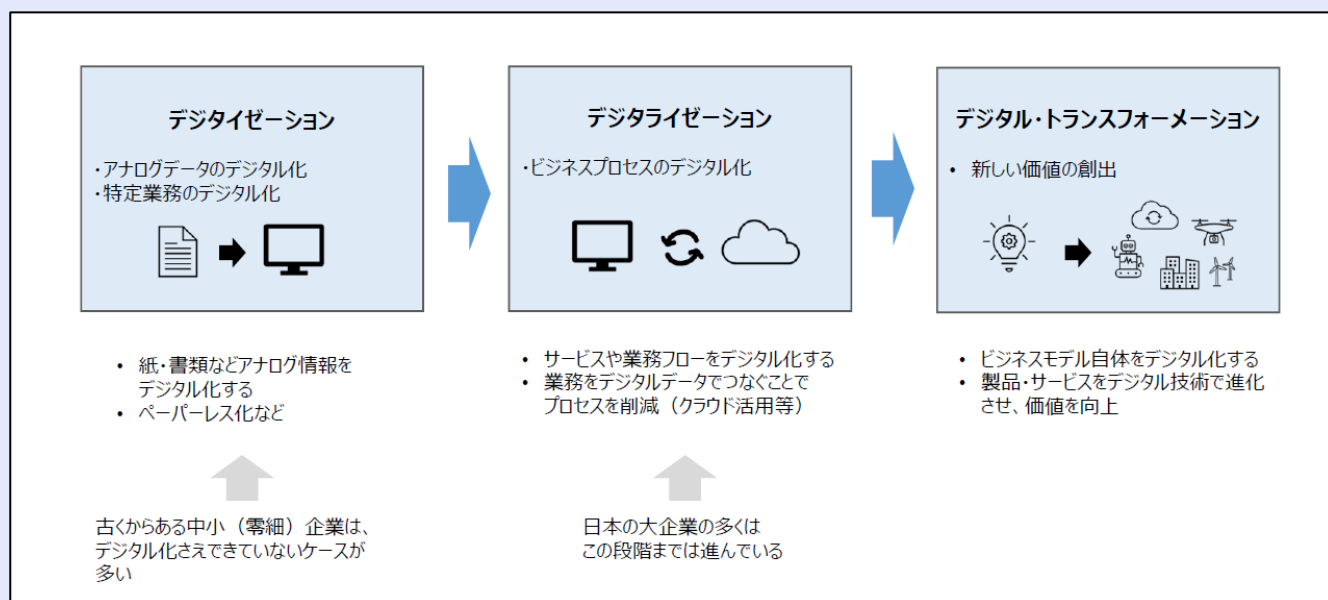
### ○ DXとはなんですか？

簡単にいいますと**デジタルを使って事業モデル、企業変革、社会変革が起こる**ことですね。起こるといっているのは、DXは狙ってできるわけではなく、ステップを踏んだ結果視えてくるものだからです。経産省デジタルガバナンス・コード2.0(2022年9月13日改訂)で次のように定義しています。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、**データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立**すること

[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/investment/dx-chushoguidebook/tebiki2-0.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-chushoguidebook/tebiki2-0.pdf)

### ○ どんなステップでDXを推進するのでしょうか。

DXは**デジタルイゼーション→デジタルライゼーション→デジタルトランスフォーメーション**というステップを踏んでいくものです。ですから何かシステムを入れたらDXではないのです。トランスフォーメーション=変革ですから。まずは**デジタルイゼーション**(紙のデジタル化、特定業務のデジタル化等)を経て、早く**デジタルライゼーション**(プロセスのデジタル化)にいかないとDXは視えてこないですね。ここがいま大事なところですよ。



(出典：BBT)

### ○ どれくらいDXが日本では進んでいるのでしょうか。

令和4年の通信白書によればDXに取り組んでいる**企業が日本約56%、米約79%**とアメリカに大きく水をあけられています。またDXを推進する上での国別課題をみると**日本企業は「人材不足(67.6%)」**の回答が米国・中国・ドイツの3か国に比べて非常に多く、次いで**「デジタル技術の知識・リテラシー不足(44.8%)」**と、**人材に関する課題・障壁が多い**となっています。

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nd238210.html>

さらにJUSA「企業IT動向調査書2022」によれば**DXで実施に成果が出ている企業は1割未満**となっています。日本の将来を考えると、これは結構深刻ですね。

### ○ DXの先行事例

海外ではタイヤ販売からサービス提供にビジネスモデルを変革(トランスフォーメーション)したミシュラン、ビデオレンタルからいくつもビジネスモデルを変革(トランスフォーメーション)してきたNetflixがありますね。

日本では売上高1,000億円以上の企業では**日立製作所、中外製薬、SOMPOホールディングス、ふくおかフィナンシャルグループ**、1,000億円未満では**サツドラホールディングス、サンコー技研、彗びや、梅園菓子処(ばいえんかししょ)**などがあります。

詳しくは、7月5日ICTセミナー 大前さんに「DX戦略の成功条件を学ぼう」で**申込みをお待ち申し上げています。**

## 【お役立ち情報：注目されているプロンプト エンジニアってどんな仕事？】

ChatGPTで生成系AIが俄然注目されていますね。マイクロソフトは検索Beingに実装したり、ChatGPTを埋め込んだサービスもたくさんできています。

ChatGPTの仕組みを図にすると以下のとおりですが、ここで大事なのがプロンプト（指示）なのです。指示によってChatGPTが生成する回答が大きく異なってきます。

### ◆Prompt 何を生成させるのか

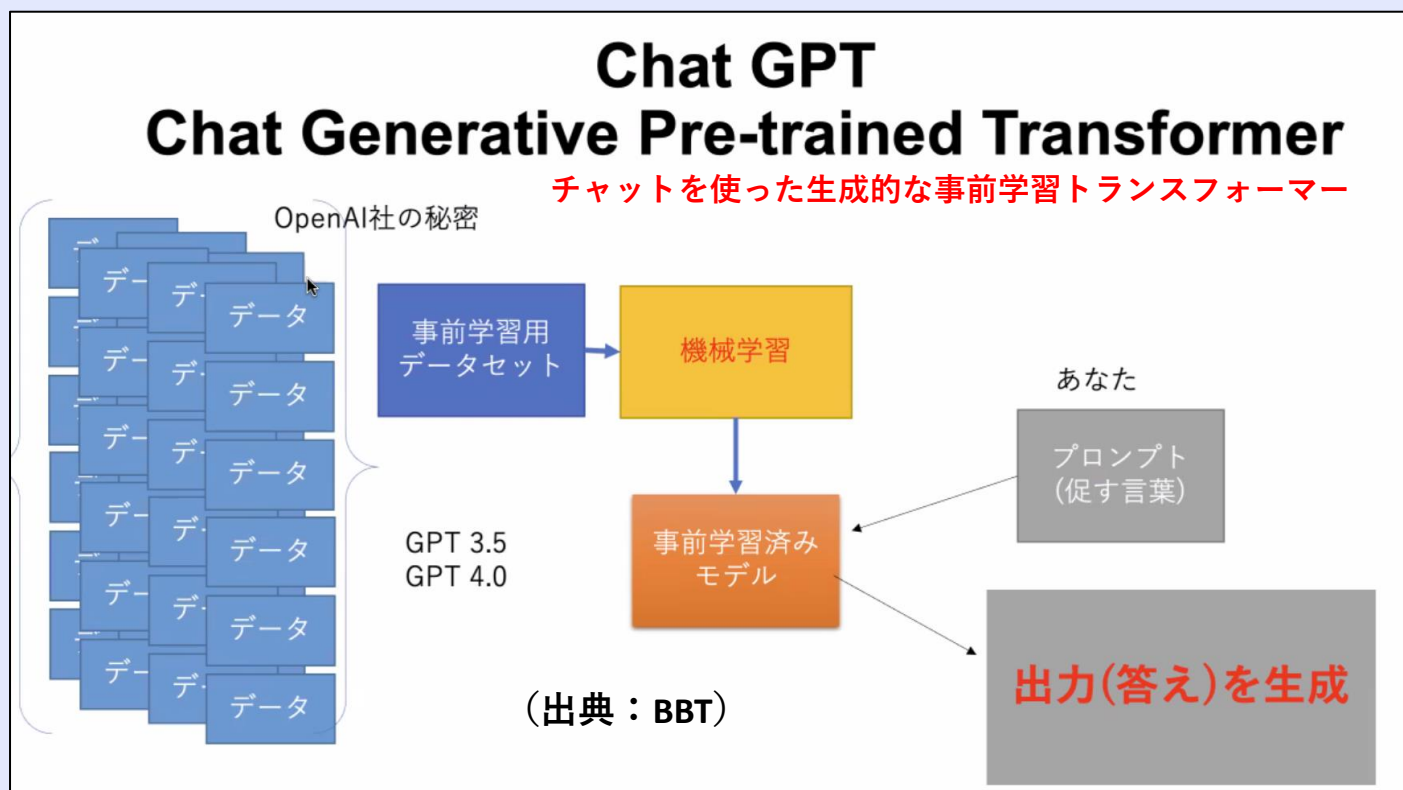
- ・ **与えるのは質問ではありません。**  
⇒生成させるものについての指示（Prompt）が必要
- ・ **得られるものは答えではありません。**  
⇒その指示（Prompt）に基づき事前学習したものの中からそれらしく生成した成果

### ◆Prompt に必ず含める最低限のこと

- ・ **GPTに設定したい専門知識領域**  
⇒生成のもとになるデータベースを何の分野の専門知識とするかが大事
- ・ **聞き手(自分)の前提条件** ⇒知識の前提知識レベルが大事

### ◆Promptに含められるもの

- ・ **フォーマット** ⇒言語（言語、関西弁も可）、形式（箇条書き、ステップバイステップ）、トーン（優しく、面白く、詳しく）
- ・ **フォーマットやキャラ設定に名前をつけ、育てることができる**  
⇒「〇〇コンサルタント」「My秘書」「ダンボさん」



ここにビジネスチャンスがありますね。アメリカでプロンプトエンジニアという仕事があり、年収4千万円超稼ぐ人もいます。プロンプトエンジニアとは、テキストや画像などを生成するAIに対して、**高品質のコンテンツが生成されるように命令を出すエンジニアのこと**です。ChatGPTやMidjourneyなどのAIサービスが登場し、プロンプトエンジニアの需要は非常に高まっています。

日本の求人サイトをみると年収300～1200万円で募集しています。こんなビジネスで収益の柱を一つ増やすこともできますね。

**<原稿大募集しています！>**

**あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。**

**いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。**

**送り先： [f.kawabata@jtua.or.jp](mailto:f.kawabata@jtua.or.jp)（川畑）までファイル（A4）を送ってください。**

## DX戦略の成功条件

< 先行事例に学ぶDXの導入・活用ポイント >

※AIの最新情報もご紹介

**貴社のDXは進んでいますか。**

昨年11月にOpenAIが無料で公開した「ChatGPT」は、公開2カ月でダウンロード数が1億回を超えました。昨年5月に大前さんに第4の波を学びましたが、時代はさらに前倒しになっているようです。しかし、日本ではデジタル・トランスフォーメーション（DX）の導入が遅々として進んでいません。日本企業は世界に取り残されています。企業は、競争上の優位性を確立するために、デジタルを活用するだけでなくビジネスモデルを変革する必要に迫られています。DXが停滞している要因はなんなのでしょう。今回は、DXによってビジネスの変革に成功した企業の事例を取り上げ、DX戦略をいかに推進し収益を上げていけばよいか、その成功条件を大前さんに学びます。

**今後の事業経営のヒントは、このセミナーにあります。お見逃しなく。**

**(Web申込先) 募集人数 1,000名(先着順)**

<https://coubic.com/jtua-kinki/424736>



**【開催日時】 2023年7月5日(水) <オンライン開催>  
13:30~16:30(13:10接続可能)**

**【参加方法】 申込時にアクセスURLをメールにてお送りいたします。**

※商工会議所等からのご紹介の方は、該当欄に商工会議所等名を必ずご記入ください。

**【参加費】 無料**

**【主催】 (公財)日本電信電話ユーザ協会東京、東海、近畿事業推進部 本部**

**【共催】 大阪商工会議所、西日本電信電話(株)、東日本電信電話(株)**

**【開催内容】 (13:30開演、16:30終了予定)**

**第1部 13:40~ あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに「DX戦略の成功条件」を学ぼう ※AIの最新情報もご紹介**

<講師:大前 研一 氏(ビデオ)、丹羽 亮介 氏(株)マインドシーズSG代表>

**第2部 15:20~ 最新のICT動向(仮題)**

<講師:前田 敦 氏(西日本電信電話株式会社  
ビジネス営業本部 スマートビジネス営業部長)>



(株)ビジネス・ブレイクスルー  
代表取締役会長  
大前 研一氏

**※お知り合いの経営者の方にもぜひご紹介ください。**

**【問い合わせ先】 大前さんに学ぼう事務局 電話 06-6534-8615**

セキュリティの最新情報も  
アップデートできます。  
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会  
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。  
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会  
会員様は**1割引29,700円(税込)**で  
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の  
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)  
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、  
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、  
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を  
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。

